

現場で子どもに携わる方への意識調査アンケート集約

2019. 9. 4現在

※1子どもの権利を意識して保育を… 1.している 2.時々意識する 3.意識していない

※2子どもの権利条約について… 1.知っている 2.何となく知っている 3.あまり知らない

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
1	0	10	3	2	主に幼児クラス。まだ遊びたい子どもの思いに対し、時間だから。活動でやりたくない子どもに対して、友達皆してるからと、集団として子どもを見ている時によく起きている。逆に自由時間や乳児クラスは子どもに寄り添い、対個人として関わってもらえているように思う。	安心できる大人・環境の中で、生理的欲求を全て満たしてもらい、笑顔で過ごせること。
2	0	1	3	2	延長保育の移動の際、「行きたくない」と泣いてしまう子どもに、選択志がなく、子どもの思いに添えてあげられないこと。	子どもが安心できる環境で、安全・健康に育つ事。
3	0	1	2	2	・自由保育 ・友だち同士の喧嘩 ・いじめ ・強制的な保育 ・虐待	・子どもは常に選択する自由があり、選択する場面を作ることが必要だと思う。 ・子どもにとっての最も良いことが一人ひとり違うと思う。それを見つけ出すことが難しい。
4	0	11	2	2	コーナー遊び等、遊びの選択 特に乳児で給食、午睡の時間が決まっている	子どもの思いを大切にし、保護者の思いこみや決めつけがないように気を付ける
5	0	3	2	2	活動計画がスムーズにいくように、午後から会議が・・・など大人の事情でバタバタする時	守ってほしいこと、大事なことを伝えたい時ほど静かに優しく丁寧に子どもの気持ちを一番に考えて話す。
6	0	10	2	1	・職員の体制が整っている時は限られた時間の中でも子どもに寄り添いながら、思いをくみ取りながら保育をしているが、体制が整わなかったり、早朝や延長保育などで他のクラスの子どもの保育する時は、関係性が十分でなく、言葉のかけ方、援助の仕方の違いなどからうまく誘い掛けなどが出来ず、時間に追われ、保育者が急いでしまうことがある。	心も身体も健康に過ごすこと。また、それが保証されること。
7	0	6	1	1	・着替えの時に保護者が勝手に決めたものを着せる。 ・乳児は特に、人数が多かったりした時に保育者が子どもを抱っこして移動させる。	子ども自身が選択すること。
8	0	3	1	1	制作の中で絵具が苦手な子の子どもの手形をとる。	自分の気持ちや思いを出せること。
9	0	1	2	2	すみません。おもいつきません。	・子ども自身が、楽しいと思える、笑顔で過ごせることだと思う。 ・子どもの好きな事、興味のあることを広げること。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
10	0	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・次の活動に移る時に片付けず遊んでいる子どもに「はやくいくよ」と声を掛ける。 ・排泄の時間（子どもの間隔に合わせて）に呼んだが遊んでおり、なかなかすることが出来ない子どもに「いくよ」と言ってつれていってしまう。 	子どもが自分の意思で選び、行動していくこと。
11	0	15	1	2	製作を行う中でのりや、絵の具を使うことを嫌がる子どももいるが、作品として展示をしたりするので、その子だけ無しという事にはできず、色々な方法をためし、行っているが（無理にはさせていないもの）子ども自身は本当にやりたかったのだろうか…	自分の意見を持ち、それを主張することができ、聞いてもらうことができる。
12	0	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「今外であそびたい」に対して順番があるから「あとでね」と声掛けする ・「〇〇したい」に対して、時間がないからと気持ちを聞かない ・苦手な食べ物を食べるまであそべないと声掛けする 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人目線の押しつけではなく、子どもの意見、気持ちを尊重しながら一緒に考えていく ・大人の都合だけではなく、子どもの思いや説明をしっかりとる ・嫌なこと、苦しいことなど“助けて”のサインを出せる環境
13	0	13	2	2	「やりたくない」という子どもの意見に耳を傾け、興味が持てるように工夫し、環境を作る	愛されていると感じること（自分をいるも見てくれている。帰る場所があるという安心感、褒めてくれる、欲求を満たしてくれる。など）
14	0	7	1	2	幼児の活動の切り替え時に“お片付け”が嫌な子に“次の活動があるから”と促す	周りの大人に守られて、安心して日々を過ごす中で、一人ひとり自由な思考を持って育っていくこと
15	0	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる権利、育つ権利では子どもたちが過ごしやすく楽しめるあそびを考えている。 ・子どもの気持ちを受け止めて保育をしている。 ・給食、午前睡、昼寝、水あそび、自由あそびなど子どもたちの環境を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の中ですべての子どもは同じ保育を受けれるように子どもたちが安心して過ごせる環境を考えている。 ・乳児でも子どもの気持ちを受け止め、一人ひとりの子どもの気持ちを考えて言葉掛けしている。 ・一人ひとりの生活リズムを考えている。
16	0	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの個性を大切にしている。 ・午前睡や午睡など一人ひとりの生活リズムに合わせている。 ・子ども一人ひとりの意見や声を聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの個性を大切に平等に意識している。
17	0	1	1	2	慌ただしい時子どもに声掛けするが子どもの反応を待たずに次の行動に移ってしまう事	どんな時においても（危険な場面を除いて）子どもの気持ちを尊重し子どもが生き生きと成長していく為の環境が整えられ子どもが安心して育つ事
18	0	4	2	2	作品展などに向けて制作をする際に子どもが完成したと持ってきたものでも、もう少しこうした方がよくなるかな？など声かけをする（展示するものだと思い意欲が湧くようにと思いい声をかけるが子どもがすでに納得しているなど感じることもある）	生活していく上で選択肢があること、それを決定できること・自分で考えて試したり、失敗しても→りなおすチャンスがあること・甘えたいときに甘えられる相手がいること

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
19	0	1	1		まだ乳児ということもありあまりお外に出れなく、子どものイライラしてるなあと思うこともありかわいそうだなあと思うこともある。	沢山出来たことは褒めてあげる。愛情をもって接する。体調の変化をよく観察しいつもと違う様子の時はすぐ気づけるようにしている。子どもが何を伝えたいのか気持ちを考えられるように表情を見て分かるようになりたい。
20	0	21	1	1	子ども達が絵本を読んでもらっている時に「時間だから」と順番におむつ交換を行う事（絵本を読み終わるまで待たずに）。連絡事項や家庭の事を子どもの前で伝えていた事（内容について理解できないと思いつい話してしまう）	子どもが一人一人の人格ある人間として尊重され生きる権利（子ども達の気持ちや思いが保障される）
21	0	9	3	2	給食事に子どもたちに介助をするが、次を待っている子ども達がいる為、急がせた食べ方になっている。	子ども達の意見、思いが主張できること
22	0	36	1	3	絵本やブロック等集中して遊んでいるが、もう時間だからと片付けの声掛けをしてしまう。	健康に育つことのできる環境の中で、人から愛され、ありのままを受け止められ、認められ、幸福感を感じられること。子どもがやりたいと思うことを自由に経験出来る環境である事。
23	0	1	1	3	泣いているときに「時間だから」と言っておむつを換えるとき・あそんでいる時に中断させて換えるときがあるので	子どもの「やりたい」の気持ちを一番に尊重し、十分にやらせてあげる。気持ちを十分に受けとめる
24	0	10	2	1	常識にとらわれて暮らすとしての意見や考え方を統一させようとする事・自由な意見や発想を見逃してしまう	のびのびと自由に育つ・愛情をそそいでもらえる
25	0,1	25	2	1	食事の時に苦手な食べ物がある子どもに全部食べないとかわりがないといってしまう	子どもがやりたいと思うことができる環境であること
26	0,1	41	2	2	午睡の時、個々の活動料や体力の差があると思うが、休息をとることもこの頃の朝早くから夜遅くまで長時間を園で過ごしているので必要かと思う。でも眠れない子にはこの時間周りの子に影響を与えず静かに過ごすことは負担かなと思う	保育所で過ごす時間が多いこの頃、自分をゆったりとくつろげるような場を持つことはどの年齢においても大切なことであり、必要な事と思う。このような環境をつくり設定していきたいが、現状においては難しい点もある。いろいろな場面で自分の意思を持って決められるようにいろいろと設定や心配りすることは大切
27	0,1	2	2	2	まだ「遊びたい」という気持ちがあっても、「もう時間だから」と活動を中断する時	国とか周りの関わる全ての大人が意識や知識をもっとつけて子どもを大切に守っていくためのもの
28	1	13	2	2	トイレや着脱に誘いかけた時に、いやと言われるが、今してから次のことへ行こうと無理強いはいしないが色々な声かけで誘い、誘導してしまう。・「早く」「急ごう」と個々のペースがあるのに周りに追いつくように急がせてしまう声かけをしたことがある	周りの子どもはこうだから…とつい全体を通して見てしまうが、ひとりひとりの成長や性格などをきちんと把握して理解して対応してあげること。大人の決めるつけに左右されず自由な発想や思いを発揮できること
29	1	21	1	1	意欲を持ってやりたいと思っている子の環境を（時間・空間）十分に保障してやれていない事	どんな個性を持つ子どもも心身ともに健康に生活し成長する事が出来る権利

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
30	1	2	2	2	まだ遊びたい気持ちがある子に対して寝る時間だからと声掛けをし寝かしつける	<ul style="list-style-type: none"> • たくさんの経験をする中で自分の意見だけではなく友だちの意見も尊重し学ぶこと。 • 安全で過ごすこと
31	1	20	1	1	障がい児を受け入れる十分な環境が整っていないにも関わらず集団の中でその特性ゆえに叱られてしまうこと	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての子どもがありのままの姿を認められること • 悪い行動（人を傷つける、自分の身に危険が及ぶこと）は注意されるが、その子どもが持つアイデンティティは認められること
32	1	4	2	2	〇〇したいという子に対して「ちょっと待ってね」「あとでね」の言葉で終わらせしめるとき。「〇〇したい」と言ったことを忘れていたのを良いことにそのまま流してしまうときは反省します。	学び、経験（良い事、悪いこと、悔しいこと、嬉しいことなど）無知は怖いことだと思う
33	1	20	1	2	<ul style="list-style-type: none"> • 苦手な食べものを少しでも味わってもらえるように誘いかけるが本当に嫌いなんだらうと思うとき。 • ベランダや外が好きな子どもに職員の人数がそろっていない時には行きたい気持ちはわかりつつ、「今はごめんね」と言ってしまう時。 	乳児は言葉で自分で言えないことも多いが、こう思っているかをたずねたり、動作やしぐさ、表情で気持ちを代弁してあげながら接していくこと。
34	1	5	2	1	集まりの際、。遊んでいた玩具を片付ける時。なるべく終わるまで待つようにするが、移動などあって急いでいる時は一緒に片付けてしまう。	思い、気持ちを受け止めてもらうこと。
35	1	4	1	1	時間に追われると大人も焦ってしまい、子どもをせかす。	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの思い、意見を大人が理解し、受け入れる。 • 子どもに合った生活、遊びを過ごす。
36	1	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> • 園庭であそびたくないのに、外に行かなければならない • プール怖いが入らなければならない 	子ども達が安全に安心して幸せな生活を送れるように、過ごせるように考えられた子ども達の権利だと思う。
37	1	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> • 好きな遊びを見つけて楽しめる • もっとやりたいの気持ちに応えるのに限界がある（食事の時間、午睡の時間） • 年齢によっては、保護者が危険だと思い、遊びを止めることがある。（高いところに登ること、小さい玩具） 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちが健康に楽しく気持ちよく過ごせるよう、保育室の環境や声掛け、スキンシップ、遊びの提供など行っているつもりです。
38	1	2	3	2	製作をする時に、上手くできない子どもの作品に保育士が手を加えずすぎる	子どもにとって大切なもの。子どもがのびのび育つ為に必要不可欠なもの。
39	1	3	2	3	<p>運動会の演目など、全員で一つの物を完成させること（やりたくない子どももいる中で）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間を制限して遊びを展開している（まだ遊び足りない子どももいるが保育の流れがあるため） 	食欲が満たされ、安心できる環境のもとで豊かに過ごすこと。健康に、命を最優先に守られ生きていくこと

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
40	1	15	1	1	・給食の時間が決まっているので、遊び（活動）の時間が制限されること。 ・給食を順番に食べているので、最後の子どもが待たないといけないこと	個々の意見・気持ちに寄り添ってもらい、安心・安全に過ごせること
41	1	1	2	2	縦割り保育・・・自分の好きな遊びを選択して異年齢の子どもと活動できること。	子どもが自分らしく育てるように、子どもの気持ちを受け止め出来ることならさせてあげたいと意識している。しかし、少し危ないかなと思いつめさせるべきかと判断するのが難しいことが多い。
42	1	26	1	2	名前を呼ぶときに呼び捨てにしてしまう事がある。	一人一人の子どもを主体として尊重し、その最善の利益を考慮し、健やかで豊かな育ちがして行ける事。その為に子どもの健康や安全の確保、発達を保障する事
43	1	36	2	2	・登園時より寝ているときや、しばらくすると寝てしまうことが多くなる。1時間ほど仮眠を取り、声を掛け起こす。本人が起きるまで寝ていてもいいのだが・・・様々な活動に参加できなくなったり、午睡がすれ夜の就寝時間がどんどん遅くなってしまふ。本人の意志としての権利が守られてないのだろうか。	・「生きる事、育つ事、守られる事、参加する事。大人は子どもにとって最善の事をしなければならぬという事」だと思う。だが人権への意識が自分自身も薄くなってしまっている時がある。「自分がされて嫌なことはしない」と意識はしているのだが、つついする事に追われている自分がいる。最も小さい立場の子子ども達だからこそ保育園の中では子どもの権利が最優先されるべきだし、私たち保育士はそのことを意識しなければならぬと思う。
44	1	19	1	2		・自分の欲求が十分に満たされているか。 ・子どもの気持ちに寄り添い、認めていく事。 ・自分の思いがその場で言える雰囲気作り、又認め合う事。 ・食事、睡眠等、基本的生活の保障
45	1	4	2	2	製作の時など、子どもたちが“もうおしまいにする”と言ってももう少しやってほしいという思い（大人の思い）から「ここしたら？」などと声を掛けてしまふ。	遊び、生活面、園で過ごす中で“やりたい！たのしい”と思えたり、子どもが主体的に過ごすことだと思う。
46	1	3	2	1	苦手な食材で食べたくないと言っている、一口食べてみてほしいという保育者の思いから、一口食べさせられて嫌な思いをする時	子どもが安心して、生きていくためのもの
47	1	7	2	2	・園での行事（運動会・発表会etc）の時に練習が大人指導となり“子どもたちが本当にやりたいことは？”子どもたちの成長になっているのか、、、と考えることがあります	自分の思いを受け止めてくれる大人が側にあり、安心できる環境で自分の気持ちをのびのびと表現することができること
48	1	5	2	2	着替えにも少しずつ興味が出てきていて“自分でやりたい”という子に「がんばれ、やっごらん」と声を掛けるものの、“〇〇ちゃんも〇〇くんも着替えないと”“〇〇ちゃんと〇〇くんがおもちゃの取り合いをしている”など、つい援助してしまい、関わってあげられていない	のびのびと生きることが出来る（情緒、人間関係、生活、すべてにおいて）

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
49	1	3	1	1	子どもの思いに寄り添いじっくり関わる 叩くなどの暴力や言葉の暴力	ニュースなどで、保育士による暴力が多く取りあげられている。危険な行動や怪我に繋がることは、年齢に応じ、子どもにもいけないことだと伝えている。その際は、理由なども伝える。暴力で知らせるということはない。あそびの際は、年齢や内容により数種類の玩具を用意することがある。子どもが遊びたいものを自ら選択できるようにしている。
50	1	15	1	1	泣いている子に「泣かなくていい」「泣いたらダメ」と声掛けしている保育者を見ると悲しくなります。	その子自身が何にも疎外される事無く自分自身で居られる事（そのまま大切な“あなた・自分”として存在出来ること）
51	1	4	1	2	グループで活動していると戸外で遊びたい・室内で過ごしたい等の意見が分かれたりやりたい遊びをリクエストされても職員体制上出来ない時がある。グループの色が決められている事	子どもが安心して過ごせる場所がある事。自分の思いや考えが言える、受け止めてもらえる。信頼できる大人がいる。遊びを楽しめる、笑って過ごせる。
52	1	9	2	2	何のあそびがしたい？などと子どもたちに問いかけて、子どもが言ったあそびをして遊ぶことがあるので、その時は権利が守られているのかなと思う。	クラス中で好きなあそびや体操などを伸ばして行けるように意識している。子どもと交流をして優しい気持ちやおもちゃを貸してあげたりする気持ちを知ってもらえるような環境づくりをしている。
53	1	1	1	2	・自分が遊びたい玩具を作って遊べること ・眠たい時に眠れる、お腹がすいたらご飯が食べられる、自分のタイミングで排泄に行ける。	食事の時に苦手な食材を無理に食べさせるのではなく、子どもが意欲的に食べられるよう声を掛け、それでも難しいなら、無理せず次の機会にし、子どもの気持ちを大切にしている。
54	1	14	2	3	幼児クラスの運動会や発表会等	乳児クラスで、外に行ける事は少ないが、自分の意思で外に行くことができないので、できるだけのびのびと遊べる保育をしている。
55	1		2	2	子どもたちが集団の中で好きな遊びを見つけて遊んでいる。おやつを食べたり水分補給午睡もしっかりしている。集団生活なので、自分勝手には過ごせない、ルールや決まり事を伝えていく中で危険な事はダメと伝えてないといけないし、我慢することも大切だと思う。友達とのけんかおもちゃの取り合いなど。	着替えて全裸にならないように気を付けている。自主性などを大切にしていきたい。
56	1	8	1	2	4つの柱全てが子どもの持つ権利で、保育の中で全て守られるべきものである。安心できる環境の中で、大切にされ過ごせるように私たち保育士は関わっている。特に子どもの思いを受け止めるということは、どの場面でもいえると思う。	優しく関わったり共感したり、気持ちを分かってもらえたと思って、信頼・安心できる存在になれるよう気を付けている。より良い関係があつてこそだと思うし、人間として大切にされていることに繋がるような関わりができるようにしています。
57	1	3	2	2	特に自分を表現できることが難しい低月齢の時期は、保育士が細かい仕草や変化などを汲み取り、読み取っていく必要性と、一つのことに固執しない柔軟性が求められると思う。常に言葉かけを怠らず気持ちを共感するにはどうしたら良いかを考えていきたい。	言葉や表現の仕方が確立していない乳児でも、その時その時の希望や感情を持っていることを忘れずそれを少しでも引き出すように意識している。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
58	2	13	2	1	家での生活と集団生活は違うので、どうしても全ての子どもに合った対応ができるかと言えば難しいものがある。 最近のニュースで見た2件も子どもに対する体罰があったが、著しく権利が奪われていて保育士の苛立ちが弱くて小さい子どもに向けられていると感じた。	おむつ交換という一つをとっても、嫌がる子に無理やり替えるのか、替えなくなったタイミングを見計らうのか、ポトポトに漏れるのを待ってから替えるのか、楽しく変えたいよう保育士が努力するか格闘しています。子どもが心穏やかにニコニコ園で過ごしてほしいと思う。
59	2	13	1	2		一人ひとりの子どもたちが皆、笑顔で遊べるよう、目を配り一人でいる子が居たらこっをかけ遊びに誘いかけたりちょっとゆっくりしたいのであれば、そっと見守りつつ時々声掛け、いつでも話しかけやすい環境を作っておく。おもちゃの取り合いをしている時は、個々に話を聞き、相手の気持ちを思いやられるよう話しかけたり、一緒に遊べるように誘ったり互いの気持ちを尊重しながら仲を取り持つ。
60	2	6	2	2	大人の時間の都合で遊びが中断されたり、内容が決められていること。	子どもがしたいと思うことや遊びがあれば優先して受け入れる。その日に実行できない時は、必ず翌日以降に行えるように配慮している。
61	2	2	2	3		
62	2	2	1	2	しっかりと自分の子どもが苦手とする所に気づき、相談機関と連携を取ったり、療育施設に通いながら、保育園での生活にも参加している。障がいがある子であると、なかなか受容できない保護者も役所等に申請できないと加配で保育士がついてあげられず子どもが困っていてもずっと傍についてあげられず園生活を辛く感じる子	全ての子どもたちは、自由に自分らしく育つことができる権利がある。子どもによって発達も成長も様々なので、その子の今をしっかりと見つめ、その子が、今何を必要としているのかを観察・考察することが大切だと思って、日々保育で意識しています。
63	2	7	1	1	子どもに対して保育士の間違いで叱ってしまった時子どもに対しても自分の非を詫び、子どもの気持ちを受け止める。	なるべく大人の都合で保育を進めない。 感情的にならない。
64	2	1			怪我のないよう遊ぶことは大事ではあるが、怪我や痛い思いをすることもいい経験になると思うので、何が何でも危険な遊び方をしているのを否定したり止めさせたりするのはどうかと思うことがある。	家庭環境の中で母親とのスキンシップが十分とれているのかどうか、愛情を持って接してもらっているのかななどで園での普段の子どもの様子をよく観察するようにしている。
65	2	4	1	2	食べたくない（苦手な物）を時間をかけてでも何口が食べさせること	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは安全な環境で安心して過ごせるよう周りの大人が子どもの命、生活を守る ・大人は子どもにとって最善なことを考え関わる ・子どもは差別されず人権を守られながら自由にのびのびと遊び活動することができる

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
66	2	7	2	2	・食事（給食・おやつ）の場面で、食べたくない（飲みたくない）ものを食べるよう促す ・今はパズルは出さない等あそびを制限する	周り人間から愛され、豊かな毎日を送ることができる
67	2	3	2	2		毎日笑顔で、健康に過ごすこと。
68	2	3	2	1	戸外遊び・水遊び、終了時間になっても、「まだ遊びたい」という子どもに対して、時間だからということ。	子どもの意見を尊重することができること
69	2	12	1	1	給食に苦手な食べ物があり、「食べたくない」という子どもに、無理やり食べなさいという言葉がけ	子どもの意見を尊重し、思いに寄り添ってもらうこと。
70	2	23	2	1	例は極端な例ですね。。「決まっていることだから・・・」と声をかける保育士っているのでしょうか？ ・子どもが自分の限界にチャレンジしようとしている場面（いろいろあると思いますが）例：木登りをしたり・・・。保育者が見守る姿勢以前に、「危ない」と声をかけ、行動を止めている場面など。	一人ひとりの子どもが、その子ども自身の生活様式（習慣・文化など）が尊重され、認められ生活が出来ること。
71	2	2	2	2	・自分がしたくない玩具や遊びを保育者に強要されること。 ・お絵描きで描きたくないものを描きなさいと言われる。 ・保護者が口拭きタオルを忘れていて、子どもが口を拭けない。	心身ともに自分らしく育つための権利。 子どもの意見が尊重される事（～したい。したくない等） 暴力等を受けないように守られる権利。 教育を受ける権利
72	2	1	2	2	食事・排泄の時間など子どもが遊びに夢中になっている時少し無理に誘ってしまうことがあった。	子ども自らやりたいことを選び、愛されて日常生活を苦難なく過ごせること
73	2	5			私の中では日常の午睡の時間です。子どもの休息の時間で、ほとんどの子が入眠する中、眠れない子が居て側について午睡の援助をしますが、笑ったり喋ったりしてなかなか眠れずほかの子が起きてしまうので言葉掛けしたりしますが眠りません。また、少しでもお昼に仕事をしないと残業に繋がるのでよくないと思い、つい焦ってしまい子どもは寝られないのに「寝る時間だから寝るよ！」と言って強くなってしまい大人主体だと感じる。	自分の思いを發揮できること。子どもの未来にとって良いか良くないか伝えていくことも大切であると思いますが、幼児くらいになると自分で気付けるように援助することが大切だと思います。子どもがのびのびとすごせることが最善の利益であり、環境を準備していくことで繋がると思います。
74	2	36	1	1	あそびの型、生活の型についついはめたり、早くしなさいと言ってしまう・待っててね、あとで声かけ・できないと判断してついつい手伝ってしまう	子どものための権利で当たり前前に誰もが主張できるけれど、大人が遮ることができる。してはいけないが大人の都合で遮ってしまうので子どもにそばにいるよから試しておいでと背中を押してあげることが大切だと思う

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
75	2	3	1	2	子どもが自分がしたいと言っているのに、時間に追われて保育者が手伝ってしまう。	子どもがおりのまま自分を大切に生きていけるように守っていくもの。
76	2	5	2	1	・子どもがしたくないと言っているのに何度も誘いかけて無理にさせようとする保育。・子どもがしたいと言っているが、次官を気にして止めさせようとする保育。・子どもに選ぶ力があるのに時間がかかるからと、服や物を保育者が選んでいること。	皆が意識をして守られる物。子どもと関わりが多い親や保育者だけでなく、大人として人として知っておく必要がある。小さな子どもたちがのびのびとそだっていける必要な物。
77	2	6	2	2	今出ているおもちゃではない物を出そうとしている子どもに「今はこのおもちゃで遊ぼうか」と声掛けする	・愛され、大切にされること ・基本的な生活を送り、保護者との適切な関係性を保持すること
78	2	2	2	2	発達ゆっくりな子やマイペースな子に対して「こんなこともできないの?」「やいなさい!」と声掛けをする。	子どもたちが自由に自分の思いを表現できること。
79	2	13	1	2	一日の流れの中である程度個々の遊びの様子を見て片付けなど声を掛けている集団の中とはいえ幼児に向かう年齢で「今これがしたい」と泣いて訴えている時には気持ちの尊重が出来ているのかと思う。また保育者に余裕があると待つ事が出来、余裕が無いと急かせる声掛けになっている	欲求を満たされながら安心できる大人との関わりや環境の中で成長できる。やってみたい気持ちや行動を自由に表現できる事
80	2	4	1	1	食事時間に中々食べない子に「もうごちそうさまするよ」と急かす。「まだ遊びたい」子に「ご飯の時間だから」「お部屋に入る時間だから」と途中で切り上げる事	安心して過ごせる、困った時に助けてもらえる。見守ってもらえる。自分の意見・気持ちを汲み取ってもらえる。今まで経験したことのない楽しさや嬉しさを体験できる
81	2	24	2	1	現在定められている保育定数の中で、保育を行い（子どもたち）個々の“今!”のタイミングで関わる事が出来ないこと ⇒大阪市の保育定数《ex 1歳児…6名に保育士1名 2歳児…6名に保育士1名》 今回のアンケートの論点とずれるかもしれませんが、市、国に対し、今後も現在を伝えていきたいと考えています	・自分は大切な存在である、愛されていると感じ、成長していくこと ・誰でも1人でもよい。そういう大人の存在が子どもの心を育てると考えます
82	2	7	1	2	・廊下など人目につく場所で下半身が露出したままにしない。 ・子どもの主張や意見、話を聞く。認める。 ・子どもの目線に合わせて話をする。・感情的に子どもを怒る ・あだ名で子どもの名前を呼ぶ、また呼び捨てにする	・鼻水やよだれは声掛けをして、清潔にする。 ・脅し言葉を使わない。 ・無理強いはいしない。 ・子どもが自分で選択する機会を設ける。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
83	2	3	1	2	子ども一人一人の個性を受け止め、個々に合わせてトイレトレーニングや楽しめるあそびを行う。また、トラブルが起きた際などは、しっかりと話を聞いて納得できるようにする。子どもの話を聞かずに、保育者が決めた活動を無理矢理行う。子どもの写真をSNS等にアップしたり、公共の場で名前を出して話をする。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの気持ちを受け止め、嫌なことがあって泣いている際にはゆっくりと気持ちの切り替えができるように見守り、話をする。 保護者と話をする時には子どものマイナス面をプラス面に変えて伝えるようにしている。
84	2	1	1	2	「やりたくない」という気持ちを受け入れ、意思を尊重しながら、身の回りのことなどを援助しながら一緒に行うとき。トイレに行きたがらないところを無理に連れて行く。子どもの気持ちに寄り添っていない。	一人ひとり個性が違うので、性格や発達段階を意識しながら個人に合った保育をするよう心掛けている。決まりごとやルールを無理に押し付けず、子どもの気持ちを受け止め、意思を尊敬する。また意思表示しやすい雰囲気作りを行い、自分の気持ちを言葉で言えるように保育する。
85	2	20	1	2	まだあそびを続けたい時に、次の活動があるため、片づけをうながすことがある（幼児クラスだと、集団活動が増える分、個々の意見を尊重できない場面もあり難しい）	その場面ごとの子どもにとって一番よいことを考えて、実現できることであるが、年齢により大人の考えに左右される
86	2	3	1	3	「食べたくない」とにがてな食べ物を食べさせようとしていること・「〇〇がやりたい」とやりたいことがあるのにもかかわらず、その日の活動内容が決まっているため「今日は〇〇するとき」とやりたいことをやらせてあげないところ	たくさんあそんで元気に生活できること・食べる、寝るが十分にできていること
87	2		2	2	<ul style="list-style-type: none"> 戸外遊びの前や午睡前に嫌がってもトイレに誘い排尿を促してしまう。イヤイヤ期の頃とおしめを取ってトレーニング中の為無理にトイレにいかせてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子ども達が、健やかな成長を保證されしあわせに生かれる為のもの。
88	2		2	2	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で1日の生活リズムを合わせる為に、好きな遊びを楽しんでいるところを止めてしまったり、制作等のやりたくないことも、経験、体験させてあげたいという思いから、やりたくないことも保育者と一緒に行うことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともに健康でいられること。親子関係、地域、まわりの大人との関係が安心でいられる。受容と共感を大切に。愛されている事を感じて過ごせる環境作り。
89	2	24	2	3	遊びに夢中になっているときに排泄を促し嫌がっていても「おもしろい前に行こうね」と抱きかかえてトイレに向かう時。体操を行う際、あまり興味を示さず、走り回ったり立ったままの子どもにも「一緒にしよう」と再三誘いかける	子どもの人権（思いや願い等）が認められたり、受け入れられたりすること。命や健康が守られ生活ができる事。
90	2	4	2	2	時間に追われて子ども達一人一人と向き合うことができず「早くして」と促してしまう。	ありのままの姿や、思いを受け止めてもらい、大人に認めてもらう。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
91	2	2	1	2	男の子で髪の毛を親の行為で伸ばして、カラフルな髪ゴムでヘアアレンジをしている男の子がいる。その子に対して「男の子なんだから」といって保育士同士で話をしてしまっている事。男の子はカラフルなゴムで結んだりかわいくしてはいけないという思いがあった。	子ども達の意見に耳を傾け、尊重する事。
92	2	25	1	2	自由活動（あそび）の時間が多くとれていないこと・指示することが多く、ゆっくりと自分で考えて行動に移すということができていない	安心して過ごせる場で育てていくこと・気持ちを尊重
93	3	25	2	2	集団活動のスケジュールの中で遊びが時間で中断せざるを得ないことがある・絵本などを見ていて「これ作ってみたいな」と言われた時に次にこの行事があるからできないという事がある。したい事をさせてあげたい気持ちがあるが集団の中でどこまで尊重できるか？納得できるような働きかけも大事だと思う	子どもを一人の人間として尊重し、気持ちに寄り添いながら関わる・子どもにとって安全に生活でき、自由に思いが主張できる
94	3	5	1	1	課外授業の際、参加せずに遊ぶ子どもに対して、なるべく参加できるように声を掛けたり、手を繋いで一緒に参加しようと心掛ける。	子どもの気持ちや意思を尊重すること
95	3	2	3	2	「あとでね」と言ってすぐに子どもの欲求を受け止めることができない（他の子どもと関わっていたり、保育の準備などで）	子ども一人ひとりの欲求に耳を傾け、気持ちを受け止める。子どもが自発的にやりたいと思えるよう援助すること。
96	3	3	2	3	プールの場面で、大きなプールに入ることが苦手な子どもに対して「小さい方に入ろうか」と声掛けをする→小さいプールに入れて、終わってしまっていることがある。回避策を提案することも一つだが、苦手であっても、楽しめるよう工夫、考えることが必要だと思う。	「やりたい」と思うことからの興味や関心を自由に経験できる環境、場があること。その時々感情に寄り添い共感してくれる人がいること。求めていることが応えられ、安心できること。
97	3	11	1	1	・指導する時に、大きな声を出す。また、他の子が見ている中で指導する。 ・子どもと話をするときの言葉が、保育士としてふさわしくない。 ・こう遊んで欲しい、こう行動して欲しいとは思いますが、その環境が整っていないのに子どもには求める。	・子どもと関わる大人や保育士が、「子どもの権利」についてよく知る、理解しようと意識する事。 ・子どもの行動や気持ちを理解し関わること。 ・過ごしやすい、遊ぼうと思える環境を整えること。
98	3	6	1	1	色々な場面での「絶対にこうした方が子どものため」「子どもにとって良い」など大人が勝手に考え、行動すること。	・子どもを一人の人として考えることは当たり前だが、親の所有物でもない。 ・子どもの思いを無視した親や先生の考え、行動は良くない。
99	3	2	1	1	お部屋で遊んでいる時に、ベランダに出て違う遊びをしている子に対して「部屋で遊んで」と言う。（「部屋で遊びたい！楽しい！」と思えるように子どもの興味を引き、遊びに誘う。）	・自分のしたいことを自由にできること。 ・気持ち、体が守られていること。
100	3	15	1	1	主体という言葉の本質を保育士がはき違えてやりたくない遊びをさせてしまっているかもしれない。	生まれながらに持っている権利

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
101	3		2	1	個々の子ども達を呼び捨てする→呼ぶときは敬称をつけて呼びたい。 遠くから大きい声で注意する→「もういい加減にしない」「早くして」「もう～」と言ってしまふ事がある。肯定的な言葉で注意したり叱ったりし、子ども達の側に近づき、言葉をかけたい。 食事の時少し絵も苦手なものを食べてほしいを思い、交換条件を出してしまう。いつかは食べてほしいと願い待つ。	「これでいい」「今のままのあなたでいいんだよ」と認める。 「大丈夫だよ」「一緒にいるから」と側によりそう安心感 自己肯定感が持てるような言葉がけをする。自分の思いや考えを建設的に話せるように出来る環境（雰囲気）がある。 心と体の健康生命尊重
102	3	3	1	2	準備が進まない子に対して「早くしないとおいでいかれるよ」等の声掛けをしてしまう。 何気ない会話の中や呼びかけの際につい呼び捨てで読んでしまう。 次の活動に移すタイミングを強制してしまう。 注意などするとき他の子の前で叱ってしまう。 ルールを守れない子に対して「もうしないでいい」等と突き放した言い方をしてしまう。	子どもが過ごしやすい、笑顔で楽しむことのできる環境が子どもにとって当たり前と与えられるものだと思う。 名前を呼ぶ際や何気ない声掛け、注意をしなければいけない時でも相手が一人の人間であることを意識し、尊重して知らないうちに傷つけてしまわないようにしないといけないと考える。 子どもの立場になり、思いに共感、寄り添いながら接することのできる保育者になりたいです。
103	3		2	2	危険な事やしてはいけない事を注意する時、離れている場所にいる場合に離れた場所から大きな声で静止したり、注意したりする。 早くしてと急かす。	子どもにとって一番良いことは何かを考えて行う 子どもの命と健康が守られている 差別がない 子どもの意見や考えを尊重する
104	3	8	3	2	水遊びの準備時間、早く着替えた子に対して、まだ着替え初めてもいない子がいたら、「早く着替えて」と急かしてしまう。	一人一人が安心して過ごせる様に関わる事。でも集団生活の中で職員の手も限られるとなかなか一人一人に寄り添えないのが現状
105	3	7	1	2	食べるのが遅い子に「早く食べや」とせかす。・苦手な食べ物がある、少食である、それぞれの事情があるが時間に追われるとそんな声掛けをしてしまうことがある	自己肯定感を得ながら日々を過ごすこと
106	3	5	2	2	遠い所から声をかける。早くとつい急がせてしまう。食事中や活動の最中に「トイレ」と言っても待たせてしまう時がある。保育者が話している時に聞いていない子どもに「先生の話をおいて」と言ってしまう。	子ども一人一人が心身共に健やかに育つ環境。一人一人がそのままの姿で受け入れられる存在。誰もが愛し愛される幸せを感じられること。子どもがやりたいと思う事を自由に経験ができる。
107	3	3	2	1	・プールに入りたくないと言っている子に「みんな入っているよ」と声をかける・トイレでないと言っている子にご飯の前だから行っというと声をかける	子どもたち一人一人が心身ともに健やかに育つことができる環境の中で人から十分に愛されてありのままの自分で認めてもらい幸せに暮らすこと

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
108	3	11	1	2	子ども自身がやりたい、やってみたいと思うタイミングで参加したり、選択して遊べるように取り組んでいるので、無理強いすることは少ないですが、どうしても保育者の人数や保育環境（スペース）時間が限られている（この部屋はこの時間までしか使えないなど）ので、身の回りの準備や活動中の子ども同士のトラブルなど、今丁寧に関わってあげたいと思う時に着いてあげられず、待たせてしまったり、雨の日など子どもたちの姿から身体を動かして発散させてあげたいと思う時に広いスペースがないので、難しさを感じます。	子ども自身の思いを主張し、それを受け止めてもらえる大人がいることで、自己肯定感を育てていくこと
109	3	1	2	2	プール遊びをしたくないと言ってる子に無理に入らせるのではなく「中に入らず外で遊んでいいよ」と声をかけ、本人が友だちが楽しそうにプール遊びをしている様子を見て、入りたくなったら笑顔で迎える。	普段の保育では、子どもの気持ちを受け止めるように意識しています。設定保育等で「やりたくない」と言っている場合は、無理強いせず、本人が自ら「やりたい」と思えるように、さりげなく誘い掛けたり、楽しい雰囲気を感じられるようにしている。野菜が苦手な給食時に困っている子がいれば、無理に食べさせるのではなく「今日は一口だけ頑張ってみようか」と声掛け少しでも口に入れることができればたくさん褒めてあげるようにしている。
110	3	9	3	3	家庭環境で登園していない子がいる。	
111	3	12	1	1	無理強い 威圧的態度 体罰 他児との比較 思いの拒否（否定的対応） 呼称	無理強い 威圧的態度 体罰 他児との比較 思いの拒否（否定的対応） 呼称
112	4	4	1	2	おもむつを替える時に遊んでいる場から離れ、人目につかない所でおむつ交換をしているところ。やりたくないと言った子どもがいた時は、その思いを受け止め否定から入らないようにしているところ。	子どもが自分の思いを伝えに来た時には、思いを受け止めることを大切にしている。
113	4	6	2	1	・苦手な食べ物を“少しずつ克服して欲しい”という思いが前提ではあるが、どこまで勤めるか ・禁止、抑止言葉が続いてしまう時 ・なんでも決まり事を作ってしまうこと ・子どものマイナス面ばかりを捉えてしまう時	・子どもが生き生き、伸び伸びと過ごすことが出来、周囲の大人から愛情を受けて育つこと。喜怒哀楽、様々な感情を素直に表現できること
114	4	2	2	2	あそび制作などしたい事があってもある程度みんなではないといけなく32人いるので1人1人の意見を聞いてあげることができない	子どもの考え、思いを大切にすること
115	4	8	1	1	保育が決まっていることはわかるが、“楽しい”と思えるように工夫したり、“したい”と思えるまで大人が待つことも大事と思う。	日常の中でたくさんの“人”と関わっていく中で子どもが一人の人であるので、そこは大人の意見を絶対!!ではない。どうしても、大人の都合になる所はあるが、子どもの意見を聞いてあげたいと思う。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
116	4	17	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの意見に耳を傾けない。 排泄を制限する。 等を想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が大人になった時、様々な面において自由に選択できること。 一人一人が可能性を持って未来へ進めるようになる事。
117	4	6	1	1	やること、こなすこと、計画の段階で考えているつもりではあるが、できていない時は子どもをせかして保育をしてしまうようなことが時々ある。	生まれてきた以上は、子どもたちが必要とされている事を感じて日々を過ごしていけるようにしていく事だと思います。
118	4	24	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 行事のあり方、子ども主体で楽しめるものももちろんであるが、そうでないものもある。また行事のためにあそびの時間が減ってしまわないようにしたいが… 日常の保育の中で早く…遅れがちな子どもに対してせかしてしまうことがある 	守られ安心できること・存分にあそべること
119	4	3	1	2	今は〇〇する時間だよ みんなしてるでしょ と強制した声掛けをする	やりたいこと、興味があることをのびのびと自由に出来る環境にいること
120	5	7	2	2	日々の活動の中で、個々の発達段階を理解せずに各年齢の発達段階やカリキュラムに無理にはめこもうとする。 得意・不得意があるのに「みんなやってるで」と他児と比較する言葉がけ。	1人1人の個性を認めてもらい、平等な援助を受けながら生きること。
121	5	7	1	1	クラスの取り組みでやる気がない子がいるが、活動に差がついてはいけないことから取り組んでもらうことがある。	1人1人の子どもを大切に見守り育てる
122	5	6	1	1	色々な事（面）で押さえつけられる事	自尊心が守られること
123	5	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの話に耳を傾けようとしない。 子どもの意見を聞かない。 すぐに答えを出してしまう。 名前を呼ばずに「なあなあ」と呼んだりする。 傷つく言葉掛けがある。 子どもの気持ちに寄り添っていない。 やらせている。 戸惑わせている。 意欲をつぶしてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な事を自分で体験する事。 たいけんするからこそ、身につけていく。なんでもさせてあげるという事。
124	5	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な野菜や食べ物が給食に出てきたとき、最後まで食べきるまでごちそうさまができない 「最後まで食べきろうね」と言う（最初に苦手なものは減らせるようにしている） 私は苦手なものを向き合うことや健康のことを考え言葉がけをしている。しかし、子どもにとっては食べる、食べないを選べず、食べさせられていると感じているのであれば、権利が守られていないか考える 	子どもがここに居ていいんだという自分の居場所を感じ、周囲の大人や子どもたちから大切にされていると感じること

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
125	5	27	2	2	今は〇〇する時だから…とやりたいことが他にあっても強制してしまいがちになる	安心して過ごす場所があり自由に活動できること
126	5	3	2	2	次の行動に移したい時に「早くして」「急いで」とあせらす声掛けをする。「一緒に遊ば」と誘ってくれた子どもに対して「後でね」「ちょっと待ってね」と待たせる。片付けの時間になっても「まだ遊びたかった」と言う子に対して「次にする事があるから」声を掛ける	子ども一人一人が幸せに暮らすための権利。親からの愛情を受け生まれてきた子ども達が皆ご飯を食べ、遊び、寝て大きくなる権利があるという事。大人の都合ではなく、子どもを第一に考え、一人一人に寄り添い関わる事。
127	5	11	2	2	食事の際、苦手な物がある時に「一口はたべようね」と声かけし、一口でも食べさせようとする事。子どもが呼んでいるのに、「後で」と後回しにしてしまう。トイレに行くのを嫌がる子に少し強引に連れて行こうとする。子どもに叱る時に大きな声でどなってしまう。	子どもの言葉に耳を傾け、気持ちも受け止め、一緒に過ごしていく中で、たくさんの経験をし、学び、一人の人間として成長できるように援助をしていく。
128	5	33	2	1	午睡の時なかなか寝付けない子をなんとかして寝かせようとしている時。	子どもの思いを尊重して認める事
129	5	15	2	1	・自由に水分補給ができない（飲む時間が決まっている）・集団遊びや、全体でやる活動などで嫌がる時など尊重はするがやってほしいというこちらの思いがあること	・子どもがやってみたいという気持ちに寄り添い、一緒に考えたり、一緒にやってみる事 ・自由に意見をいえる ・自分を安心して出せる
130	5	1	2	3		
131	5	7	1	1		全ての子どもが同じ条件のもと平等にあたえられるもの
132	345	21	1	1	子どものやりたい事をさせてあげられない時。例えば木登りをしたいという子どもがいた時、保育士が1人だった際に挑戦させてあげられない時。	保育園において言えば子どもが育ちあう場・機会・環境を作る事（協力する事・考え合う事・衝突する事・励ます事・見守る事・助ける事・話し合う事等）子どもがやりたい事をさせてあげられる場（やりたい事を見つけられる場・やりたい事に挑戦し失敗したり成功したりする場を作っていく事）
133	6	10	2	2	食事の際、好き嫌いがある食材を少量でも食べさせてしまい、子どもの意思を聞いていない時もある	子どもも大人のように自由に選択をさせてあげれば良いと思う
134	6	15	2	2	関わりにくい、気持ちが不安定な子どもとの関わりで、禁止語を安易につかってしまったり、保育者の思いだけで関わってしまうこと	子どもが安心して、自分を表現できて、受け止め認められ、育つこと。
135	7	24	1	1	集団生活できるだけ、個々の尊重していききたいが、どうしてもそこに寄り添えない時もある。それは仕方ないし、それで子どもの権利が侵害されているとは思わない。そこへの保育士の働きかけ、声のかけ方で、色々な支障が出てくることは多々ある。プログラムが決まっている→やりたくなる声掛けをするは○。プログラムが決まっている→やらないと、遊びをさせないは×。	自分が自分らしくありのままの姿で育つ権利。大人にあって子どもにない権利などないと思う。わざわざ「子どもの」とつけなくてもいい社会になってほしい。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
136	7	10	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 今はこれをする時だからという生活の流れ（大人が決めた）で、子どもの気持ちにまず目を向けることができるているかどうか？出来ない時がある。 時間、ルールの中で、子どもの気持ち、その子にとってどうなのかが考えられない時。 	子どもの今の気持ち、未来の姿、今までの姿が全て認められること。向き合ってもらえること。
137	8	30	1	2	お散歩に行きたくない。みんなが行くから全員で行く。	生きる権利
138	フリー	26	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは遊びを続けたいのに月の活動のためにかたづけをしないといけない 散歩中興味のあるもの（花虫等）を見つけても時間が限られて帰らないといけない 運動あそびが苦手でドッジボール等集団でするあそびに参加しないといけない こちらの都合で子どもたちに言葉がけをしてしまう	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしく生きる権利、守られる権利を基本とし、幸せを感じること 生活する中で選択の自由があること 欲求が満たされること 自分の思いが相手に伝えられること 愛情を受けることで自己肯定感が育ち自分の事を大切にできる
139	フリー	6	2	1	貧困に直面している家庭において安定した情緒を形成することなく集団生活をスタートせざるを得ず、様々な経験不足が始まってしまう環境。保育所では物的、経済的支援は不可能に近い。保護者が他の保護者との関係が苦手でプライベート域でのクラス会や集まりに参加できない（しない）が子どもは参加したい。保育所から参加を促すことはできない	子どもが家庭、家族だけではなく社会全体から大事に思われること、優しくされることだと思う
140	一時保育	9	2	1	保育中で子どもが自由に好きなあそびを選ぶことができるように、複数のおもちゃを用意するなど環境構成を工夫している。また、子どもが主体となって行動できるように、関わっている。子どもの権利を大切に考えながら保育を行っているが、発表会や運動会の取り組みの中で、保育者側に余裕がなくなると丁寧に関わるのが難しいこともある。	“子どもの権利”について、保育の中で子どもの気持ちを大切にしているが、家庭の中で、“子どもの権利を大切にしている”＝“子どもの言いなりになっている保護者”が増えてきて、子どもへの接し方で相談を受けることがあるので、伝え方が難しいと感じることがある。
141	一時保育	20	1	1	大人の都合（クラスの運営上）でクラス分けをし、子どもはクラスカラーの帽子を被り大人が解りやすい様になっている。（子どもが自由に色を選んだり好きな友だちと自由に居る事を阻んでいるともとれる）みんなで食事をとっている際、食事を終えた子が席で待つ時間を設けている。食べ終えた子が順番に次の活動に移れるよう場所と保育士がいれば食後に待つ事をせずもっとそれぞれの子どもが自由に過ごせる時間を作れるのかもしれない	子どもが伸び伸びと主体的に自分を表現できる環境があり、自分のやりたい事に挑戦できる場所と、その事を認めてくれる人がいる事。自分の知識を広げる事ができる学びや経験の場があり人と関わり合いを持ち見知を広げる事ができる環境がある事。人との関わり合いの中から思いやりや自分と他人を大切に出来る経験の場がある事。子どもの最善の利益を尊重し実現しようとする大人の存在と子どもが権利を使う環境が必要だと思います
142	主任	27	1	1	「食べたくない!」「嫌い!」と言っている食材を「少し頑張って食べてみよう!」と声掛けする。	自分らしく生きることが出来ること。そのために、様々な社会から守られなければならない

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いませんか
143	副主	20	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 大人の都合でイライラして、その感情のまま子どもに対する声のかけ方がきつくなる。 泣いて訴えている子、手などが出てしまうが自分の気持ちをどうにか表現して訴えている子に対して、気持ちを受け止める前に「まず泣きやんで」など、行為ばかりに目がいってしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもも一人の人間であること、気持ち、意志、考えがあることを忘れてはいけない。 その子がその子らしく生きていけること、ありのままを認めてもらえること、どここの場所でも安心して生活ができること。
144	療育2-3	2	2	1	子どもが「ホールに行きたい」と伝えている時に職員の体制などで「後でね」や「今行けないよ」と伝えている時	平和が大前提で子どもが安心安全に暮らせるための権利だと思う。平和であるからこそ権利として成り立つのではないかと考える
145	療育345	5	1	1	医療ケア児について看護師の配置などで集団を選ぶ事ができない等の制約がある。近所の保育園へ行けず療育園に行く事、特別支援学校の通学バスに乗れず公共交通機関を誓って通学、保護者が食事介助をする等。	健康で怪我が無い事。その子どもにとって快適で安心できる環境がある事。経験を制約されない事
146	療育6	11	1	1	帰ってきたら宿題をするというルールがあるが今はやりたくないという気持ちや、集団遊びのやりたくない・苦手な子への配慮は？	子どもが1人の人格者として尊重される事。主体的に生きるための権利。〇〇する事だけでなく〇〇しないという事も子どもの意思
147	療育6	3	2	1	昼寝をしたくないという子への対応。お弁当に嫌なものが入っていて食べたくないと言った時など	子ども自身が考え決められる（選べる）自己主張できる。
148	療育7	2	1	1	子どもの「嫌」「やりたくない」という事にどうすれば気が向くかわりに何が出来るのかを大切に考えている全員で鼓笛隊などに取り組んでいる施設は子どもが出来るよう指導されているのを聞いてやりたくない子どもはつらいなと思う	障がいのある子どももいない子もその子らしく生きていける事。障がいによって不便・不利益があれば通常の子と同じように足りない事は国・大人が補っていくべき
149	療育	10	1	2	今このときやりたくない事を無理やりさせられる事（着替えたくない・部屋に入りたくない時に日課だからと促される）	安心・安全が保障された環境の中でその時々思いを受け止めてもらいながら成長に合った活動が出来る。毎日心から楽しいと思って園で過ごせる事
150	療育	11	1	2	決められた日課の中で子どもが違う事をしようとしていた時に「〇〇君は△△しているから一緒にやろう」と伝え集団に入れさせようとする事	子どもの「やりたい」「やりたくない」の思いを丁寧に汲み取り寄り添う事。また子どもの主張を子どもの目線に立って聞き、大きくなりたい気持ちを大切にすること
151	夜間	6	1	1	子どもが今したくない事（睡眠・排泄など）に「食事の前だから」「午睡の時間だから」と決めて子どもに押し付けてしまっている事がある。「この遊びをしたい」と思う本児の気持ちを受け止めてあげられず出来ない時など	大人に守られながら色々な体験をし伸び伸びと育っていく事。何にも捉われず自分を表現出来ること。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
152	夜間	14	1	1	外に出たいが職員数が足りずにはすぐにはいけない事。「〇〇しないと△△出来ないよ」という声掛け。眠くない（遊びたい）のに午睡の時間はゴロゴロする事等	子どもの将来のためにベストな事。その時子どもにとって最も良いと考えられる行動・選択
153			2	2	言い方の問題だと思う。「決まっている事だから」という言葉	笑顔で暮らせる事
154			3	3		公序良俗に反しない社会性を学ぶ事
155			1	3	・遊びこんでいる中で排泄の時間になり、排泄へ誘う「行きたくない」と言っている子どもに対してまた帰ってきてから遊ぼうねなど排泄に誘うとき	・子どもの気持ちを第一に考え、集団の中での生活を共にしていく中で、今どうしたいのか、どうしたらいいのか子どもと考え成長する。
156		31	1	1	・自分の好きな遊びができない。 ・自分の好きな服が選べない。 ・行きたい時にトイレにいけない ・トラブルになった時など大人が「こうでしょ」と決めつけてしまうなど	・子どもたちが自分の思いを気にすることなく言え、自分で考えて行動すること。 ・どの子どもも、愛され、自分自身を愛することが出来るようになること
157		27	1	1	・子どもにとって苦手なものがあつた時に、それが出来ない事がいけないと思われるような関わり。 ・出来た出来ないで評価し、その過程を大切にしようとしなない事。	みんな違ってみんないい。その子、その子一人ひとりの個性が尊重されることだと思います。
158		9	2	2	子どもの集団も大切ですが子ども一人一人が自分のやりたい事を主張できない場面があつたので大人＝保育者として大変だとは思いますが子ども一人一人に関わって頂きたいと思いました。	自分らしく、一人の人間として暮らしていける力をつけ笑顔で暮らせる事
159		6	2	3	自身の子どもの頃と比べて学校や施設、公共の場も子どもに対しての準備は進んでいるように思います。	
160			3	2		
161	学童	4	2	2	給食の時間は、決まっているので子どもの権利は守られていない。大人の目線からだ遊びの中で、遊び込めていない子がいると、遊びの中へ入れようとする。 喧嘩の仲裁の時、お迎えになり保護者・保育士・子どもとのやり取りになった時に、子どもの意見と違う話になってしまうことがある。	子どもが選択できるような声掛けの意識をしている。子どもの気持ちを聞けるように、普段から関わるタイミングをいろいろな場面で作るようにしている。
162	学童	7	2	2	遊びの中で大人が遊びの時間を決めてしまっている	子どもの意見や考えを尊重する。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思いますか
163	学童	7	2	2	小学生なので意思疎通がはっきりできる。日々の活動の中で、子どもがやりたいことを取り組むようにはしている。また学童では集団生活な為、異学年との関わりがある。その中で、子ども同士のルールや喧嘩も起きることがあるが、極力、指導員はすぐに割って入らず、見守るようにすることで、子ども自身が納得し話あえるようにしていること。この時期（夏期）熱中症が危ぶまれるので、好きな時間に戸外に出れないこと。また、戸外での遊ぶスペース（屋上）が狭いこと。 ・子どもがやりたいことに対して、すべてを受け止めることができない時（小学生などある程度無茶な要望、スリルな体験も求めるが、安全目のリスクを考え否定することがある）	自由に発言し、周りの大人から十分な愛情を受け、生理的欲求を満たしてもらうこと。安全な環境もとで、育つこと。
164	学童	3	2	2	子どもから「やりたい」と言ってきたことを時間がないなどの理由で止めたりすること。	生命の危機を感じることなく、周りの人々から十分な愛情を受け、心穏やかに過ごすこと
165	学童	3	2	2	声掛けの仕方、相手の人格、存在を尊重した言葉をかける。上記2の例でいうと「いっぱい出てるじゃないの」は上から目線になるので良くない。否定的ではなく肯定的な言葉かけを心掛けている。	子どもの意思表明権を意識している。 学童保育の中で外遊びをする時にボール遊びをするかしないか（する時にはネットを張る）を必ず子どもたちに聞いて選択させている。また、単純に多数決で決められるのではなく、子ども同士で意見交換して話し合った結果、決定させている。遊びの内容も複数の遊びの中で選択できる自由・時間で、遊びの内容を変えるなど工夫をしている。
166	学童	3		1	外遊びの際、公園等のルールを守った上で好きなおもちゃで自由遊びを行う。食事やおやつ等は好きなお菓子を量を自分で加減して選び入れる。日々の学童のスケジュールを子どもの意見を聞いて取入れる。	おもちゃ等は種類・幅を持たせ順番に多くの子が遊べるようにしている。遊びを展開しても危険のないよう部屋を整える。読書・勉強に集中したい時は、別部屋を設けるなどの対処をする。
167	学童	3	2	2	・絵を描くときに題材が決まっている・一方的にこれしよう、あれしよようになっている・子どもの意見をあまり取り入れない	子どもがやりたい事を大人がサポートする。大人とも対等に意見が言い合える
168	学童	6	2	3	支援員が決めた遊びをするテーマ学習を全員で行っている。戸外では体を動かすドッチボールや鬼ごっこ等、室内ではカードを使ったトランプやUNO等をしている。例えば戸外で「今日のテーマ学習はかくれんぼだから初めにします。」と言えば子どもは野球、サッカー、遊具で遊びたいと話す「テーマ学習だから全員でします。」と子どもの意見をスルーしている。テーマ学習後、自由時間はあるがお迎えの時間の関係や夏の暑い期間の影響で短くなり遊びたい遊びをする時間が少なくなっている。室内ではレゴや読書している子がいる中でテーマ学習をするからと遊びを中断して全員で行っている。	子どもがしたいことをすることだと思います。大人の都合ではなく子どもの意思ですることだと感じました。そのためにも子ども達に教えるのもそうですが、気付いてもらう機会を増やし、その気付きから子ども達は自然と自分の気持ちを持って主体的に言動すると思いました。

No.	担当クラス	経験年数	※1 子どもの権利を...	※2 子どもの権利条約について	「子どもの権利が守られていない」ときいて 保育の中で思い浮かぶこと	子どもの権利（最善の利益）とは何だと思えますか
169	学童	2	3	3		<ul style="list-style-type: none"> • 自発性の尊重 • 活動支援 • 社会性を身につける
170	学童	14	2	1	話しかけられた際に「ちょっと待って」とだけ返答する。(理由やいつ聞けるかを伝えずに)	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の気持ちを出せる • 安心できる • 衣食住が整っている
171	学童	1	2	1	テーマ学習を行う際、自分の好きでない遊びの時に「やりたくない」と言う子に対して、支援員が「やりたくない事でも挑戦してみよう」と声掛けをする。	身心が共に発達し子ども自身が愛されていると自覚でき、社会に必要とされること。
172	児童館	1	3	1	特に思い浮かばない。	人として育ち、生きていく中で、自分の自由を守られたり、保証されること。
173	児童館	26	2	1	選択肢の中から、自分の思ったように選ぶことができること。自分の意見が否定されないこと。私の視野が狭いことで、やりたいあそびができない時。	大人と子どもというような分け方をしていた社会が、これから人と人というような考え方になるための第一歩だと感じる。
174	児童館		1	2	来なら、子どもの権利を守るべき親が、その義務を怠り、責任湧感じるところか、暴力をふるまい、責任逃れを行う。そんな大人が多い中で、その代わりにせねばと日々頑張っている方々が、気にしないといけないのは、親の代わりはできて親ではないということ。例①も②も最善の方法だとしても、その行動はおかしいのでは。気持ちも考えず、仕事だからと感じる。	